

2.目標達成計画

にしき園 グループホーム

作成日：平成 21 年 8 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	毎月の勉強会にて、個々のケアプランの見直しやニーズの検討などを行なっているが、具体的な記録を文書として残さず、直接モニタリングに反映していた為全職員が関係書類に目を通す機会が少なかった。	個々の援助方法を職員全員で共有してケアプランを作成する為、関係書類を職員が見やすいように、また見る習慣をつける為に一冊のファイルにまとめる。	現在其々のファイルに記録簿として綴じている文書を、一冊のファイルで、個々の生活記録が一目で分かる様なまた見易い記録の方法を検討する。(例えばケース記録のファイルに個々のヒヤリハットや事故報告などの関係書類の全てを綴じる)	12ヶ月
2	40	糖尿病の方がおられ、他の方の盛り付けが気になり、不満を言われたり、比べたりされるので、食事の席の工夫や、盛り付けの工夫などをしていたが、最近、掛かり付け医の指示にて、しばらく、食事の制限をとめて普通食での対応となる。糖尿食の方がおられたので外食に取り組むのを控えていた。	年間に手作りの弁当でのバスハイクはしているが、地域との交流を兼ねて、外食に取り組む。	全員の方と一緒に取り組むことは困難と思うので、まず、今糖尿病の方が普通食の許可がある期間に他の何人かと一緒に「ファミリーレストラン」か「近くの食堂」に食事に行きたい。また昔よく作っておられた、焼きだんごや煮しめ等を職員があまり介入せずに作っていただく。	12ヶ月
3	54	排泄の場所は、トイレでの介助として、居室は家族様との団欒やゆっくりと身体を休める所と考えていたが、現在個々の状態の変化や、共同トイレの不具合などを検討し、居室でのポータブルトイレでの排泄介助を行なっている。	居室にポータブルトイレを置いても、家族様や利用者様がゆっくりと団欒できて、清潔が保てるようにする。	利用者様が持ってこられている、馴染みの家具に違和感がないようにポータブルトイレにカバーや飾りつけなどで工夫する。また清潔を保つ為に、定期的な掃除と消毒を行なう。	12ヶ月
4	43	尿意、便意の訴えが無く、チェック表にて確認をしながら排泄介助をしているが、最近では、排泄の間隔が長くて、家族様に相談しながら、家で好きだった食べ物や飲み物などを工夫しているが、なかなか改善が出来ていない。	毎日穏やかに、普通な排泄が出来る様に、過ごして頂く。	現在、尿とりパットで対応しながら、本人の好きだった、炭酸飲料水や熱いお茶などで、水分補給を行い、排便コントロールは、整腸剤や緩下剤を使っている。取組みとして毎日の行動や睡眠状態などを良く観察しパットを外し緩下剤を止め普通の布のパンツにする。また繊維を多く含んだ炭酸飲料などを飲んで頂く。声掛けせずに行動を見守り誘導する。	12ヶ月

